



## 全国学力・学習状況調査の分析を通して

猛暑を越え、柳城の地にも秋が訪れ、みのりの季節を迎えました。保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。



さて、本年度、小学6年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、国語・算数の学力ならびに学習状況（生活や学習の状況）の分析・検証の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

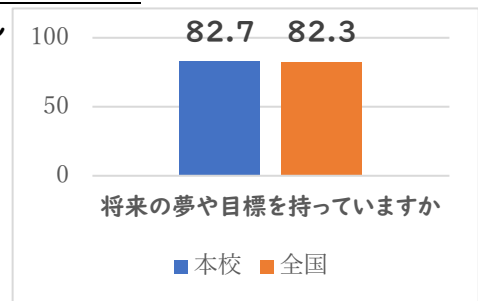
本校の学校教育目標「夢や志を持ち、たくましく学び続ける児童の育成—（校訓）強く 正しく美しく」に示されているように、その基盤を育み、子どもたちの夢と希望をかなえるために、学習面・生活面ともに幅広い視点で、バランスのとれた支援に取り組むことが大切です。

全国学力・学習状況調査は、児童の学力や学習状況の一側面をとらえたものではありませんが、児童の学力や学習状況を把握・分析し、児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。この目的を踏まえ、ご報告いたします分析結果をもとに、本校における教育活動をふりかえり、児童の教育・支援により一層充実させることができるよう取り組んでまいります。今後とも学校・家庭・地域が一体となって児童の育成に取り組んでいくことができますよう、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。 学校長

### 「自立して、夢と希望の実現をめざす 笑顔あふれる学校」

「夢や志、目標（なりたい自分）」を持ち、学校生活を楽しむことができることは、学校生活の基盤となります。

多くの児童が夢や目標を持ち、その実現をめざし、学校生活を楽しみながら、「未来を切り拓く力」を育成できるよう、引き続き取り組んでまいりますので、ご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



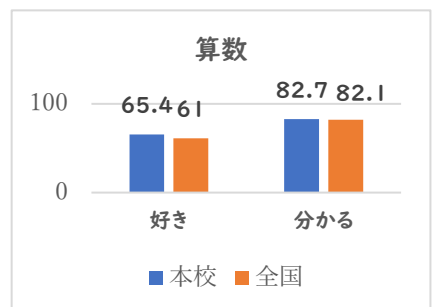
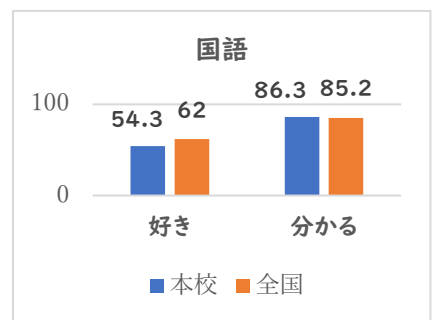
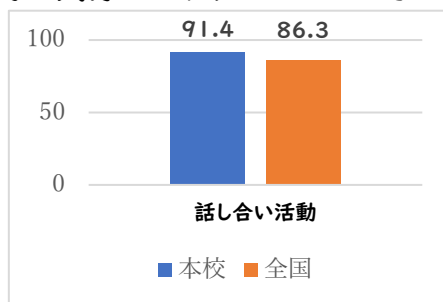
### 「学力の概況」(国語・算数) 全国と同程度

学力調査問題の平均正答率については、国語・算数ともに全国と同程度の結果でした。学習をするのが好きで、楽しく学び、学習内容が理解できる（わかる）ことが、継続的な学びの質を高めていきます。



また、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる」ことも大切です。

引き続き、仲間との学び合いの中で、楽しく、わかる授業にづくりに取り組んでまいります。



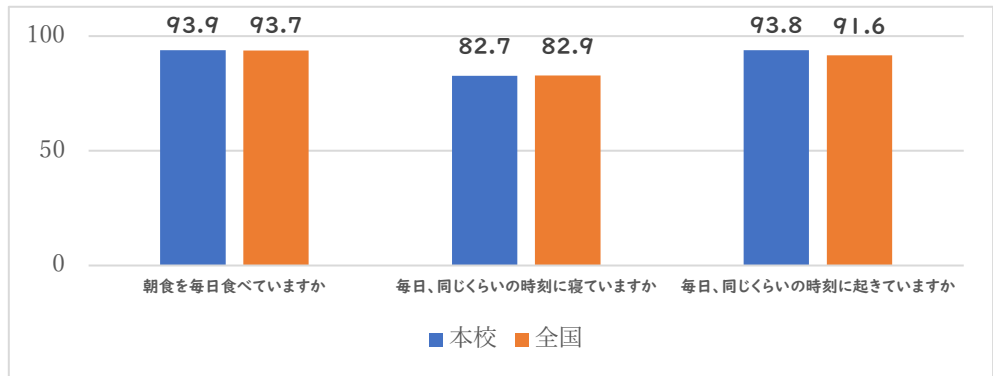
分析・検証から見える具体的な取組へむけて



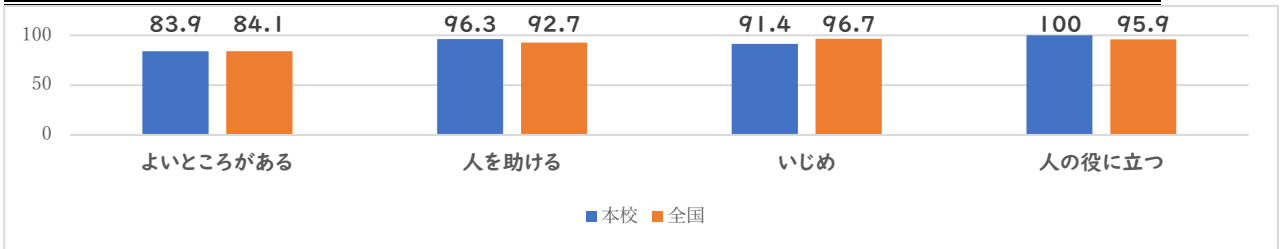
1 生活習慣を大切に（早寝・早起き・朝ご飯）

「早寝・早起き・朝ご飯」をはじめとするよりよい生活習慣は、学力だけでなく、生活の質を高め、夢をかなえることにつながります。

引き続き、質のよい睡眠と食の習慣を大切にしましょう。



2 自分も人も大切に（自分も人も大切に規範意識と思いやりの心を）



「人の役に立つ人間になりたい」について、すべての児童が肯定的な回答をしました。「自分にはよいところがあると思う」「困っている人がいたら進んで人を助ける」「いじめを許さない」など、自分も人も大切に、規範意識と思いやりの心を持つことは大切です。引き続き、規範意識を高めるとともに、「あなたはすばらしい」「成長をしていくことを願っている」温かいまなざしと、ほめる認める声かけと成長を願うメッセージを伝えることを学校でも家庭でも大切にしましょう。

3 家庭学習習慣を大切に

家庭での学習習慣について、一日1時間以上の家庭学習を行うことが定着している児童は、概ね半数となっています。

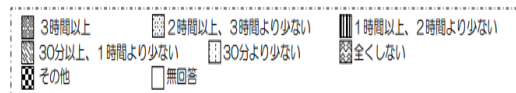
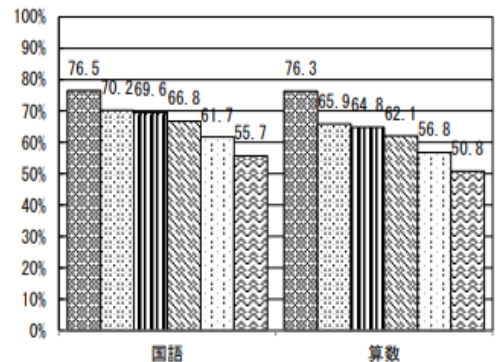
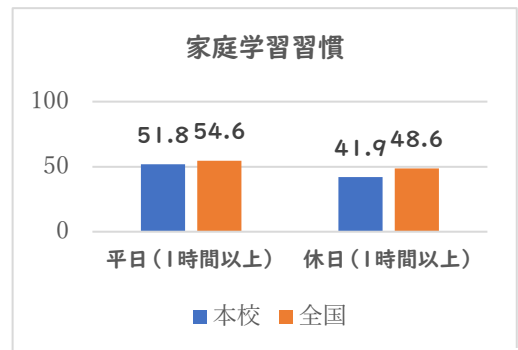
また、下のグラフは、全国のデータをもとにした「家庭学習時間の長さ」と国語・算数の平均正答率との関係を表したものです。家庭学習が1時間を下回ると、階段状に学力が定着しにくい状況がわかります。

自ら計画的に学習する習慣がある児童ほど、学力が高い傾向もあり、宿題や家庭学習の内容を工夫するとともに、引き続き、主体的な学習の習慣づくりに、取り組みましょう。

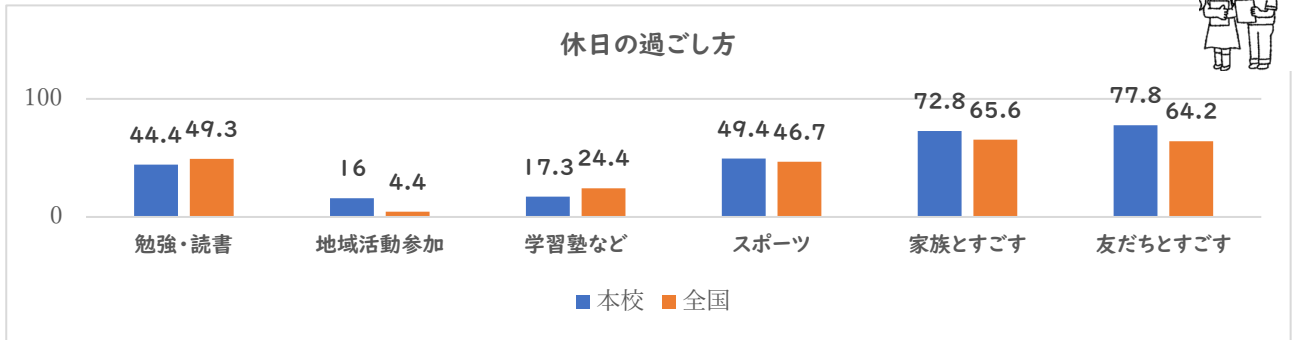


（重点的な取組）

- 「おの検定」や「定期（期末）テスト」へむけた準備・チェックカード
  - 「マイスタノート」（掲示、交流等）
  - 小中一貫教育にかかる「家庭学習の手引き」の活用
- 【目安】 高学年 60分以上 低学年 45分以上



## 4 休日の過ごし方（地域や人とのかかわり）



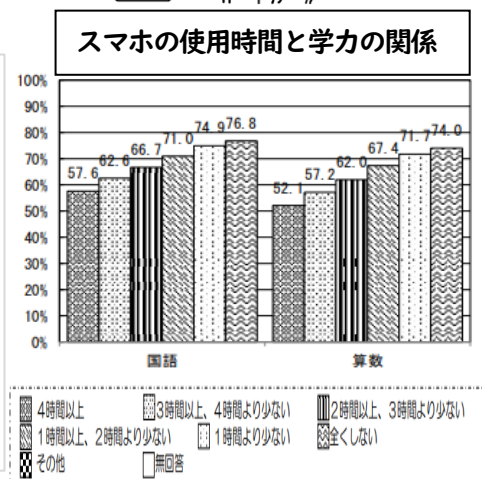
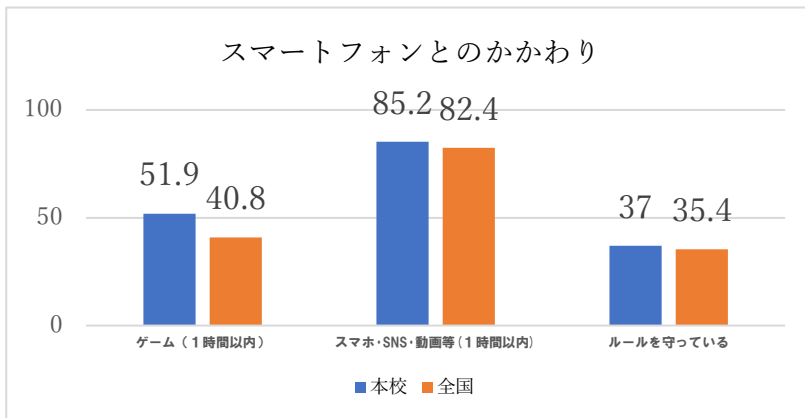
家庭学習習慣には、休日も含めてやや課題が見られる一方で、休日の過ごし方には、本校の家庭や地域のよさを感じる面もうかがえました。家族や友だちと過ごすと回答した児童が比較的多く、スポーツを楽しんだり、地域の活動に参加したりする割合も高くなっています。このように、人とのつながりや地域とのつながりは、本校の家庭・地域のよさでもあります。引き続き、家庭や地域の居場所を大切に、夢や希望をかなえる環境を大切にしましょう。

## 5 ICT機器の活用について（ルールをもとに主体的にコントロールする力を）

ゲームやスマートフォンとのかかわり（SNS・動画等）の使用時間、家庭でのルールづくりなどについて、保護者の皆様とともに取り組んでおり、一定の効果が見られます。しかしながら、ゲームの時間を1時間以内に制限できている児童は約半数に止まり、家の人とのルールを守っている割合も3分の1あまりに止まっています。また、家庭でのICT機器の学習利用の時間と学力には、相関関係が認められない状況にあります。

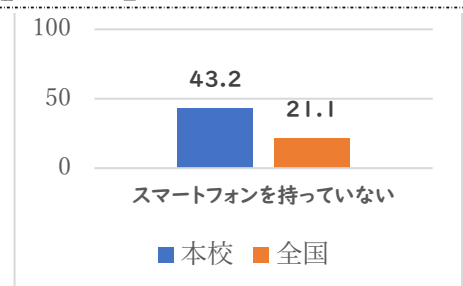
引き続き、ゲームや音楽・動画の視聴、インターネットの利用について、子ども達とともに作ったルールを改めて確認し、学校と家庭が一体となって、みんなで守っていくように取り組みましょう。

- ①夜9時以降は使わない
- ②1日1時間まで
- ③個人情報は発信しない
- ④悪口を書き込まない



★ 一方で、授業におけるICT活用では、毎日使うと学力が高いと言えない面はあるものの、学習目的に応じて効果的に活用することは、これからの時代を生きる児童にとって重要です。

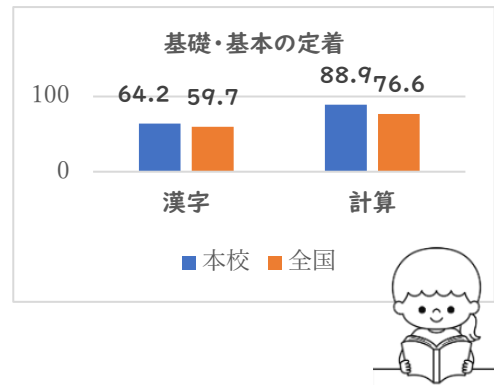
そこで、授業目的に応じて効果的な場面で有効に活用する研究を引き続き進めるとともに、児童が主体的に情報発信するプレゼンテーションやプログラミング思考を深める学習等を含め、活用スキルとモラルの育成に積極的に取り組んでまいります。



## 6 基礎・基本（読み・書き・計算）の定着

漢字の読み書きや計算において、比較的良好な結果が見られ、基本的な事項が定着している様子が見られます。

「おの検定」「朝学習」「複数指導等のきめ細かな支援」「がんばり教室（放課後学習）」等の取組を保護者の皆様のご協力のもと進めるとともに、より一層「わかる授業」づくりを進めてまいります。

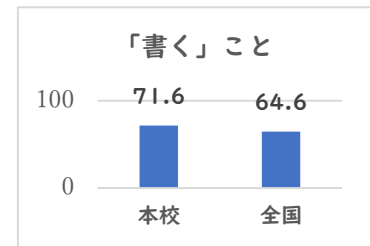


## 7 読書習慣を大切に

読書が好きな児童、毎日、読書をする習慣のある児童ほど、学力が高い傾向にあることが、過去の全国のデータ分析で示されています。家庭とも連携しながら、様々な取組を通して、読書好きの児童を増やせるように取り組んでいます。引き続き、読書習慣を大切にしましょう。

## 8 学びにむかう姿勢を大切に

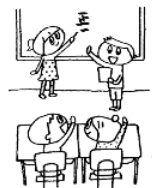
問題に対して、無解答(答えずに空欄)の割合が低い傾向があり、自分の考えを条件に合わせて文に書く問題でやや正答率が高い傾向にあります。あきらめずに問題に取り組もうとする前向きな学びの姿勢、書く力を、今後も大切にしましょう。



## 9 これからの時代を生き抜く力を育むために、重点的に取り組む内容

学力調査全体を通して、おおむね良好な状況にある中で、全国と同様に、国が示したこれからの時代を生き抜く力を育むために、重点的に取り組む必要がある主な項目は次のとおりです。

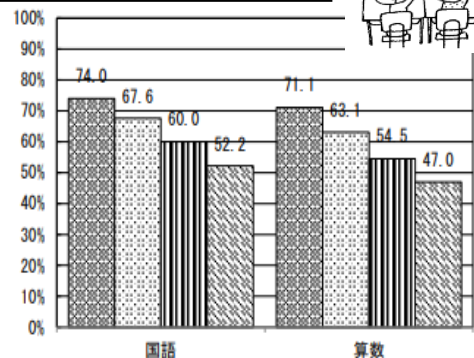
- 「条件に合わせて自分の考えを論理的に表現・説明する力」「数・式・言葉を使って説明する力」  
→すべての教科・日常生活の中で、自分の考えを論理的に表現・説明する活動に取り組む。
- 複数の「人物の聞き取り」「資料」「カード」「複合的なグラフや表」等を読み取り整理する力  
→すべての教科・日常生活の中で文章だけでなく、図・表・グラフ・カード等から情報を読み解く。
- わり算や割合、図形分野等で顕著に表れるように、内容を本質的に理解し、それを活用する力  
→本質的に理解できているか、日常生活・実社会の場面で学習内容を活用する活動を行う。
- ◆一問一答ではなく、さまざまな資料(新聞やチラシ、パンフレット、地図、図鑑・・・)から情報を読み取って問題を解決したり、問題に対して条件を整理して、数・式・図表・グラフ・写真等を使って説明したりする活動を日常生活や実社会との関連で行うことを大切にしましょう。



## 10 自ら主体的に問題解決する学びを

右のグラフは、「課題解決へ向けて、自分で考え、自分から取り組む」学びと学力との関係を表しています。学びのスタイルの中で最も強い相関がありました。また、自分の考えを発表する機会、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することも大切であることが分かっています。予測困難な時代、主体的に問題解決をしたり、自分の思いや考えをうまく伝えるようにコミュニケーションしたりする力は重要です。これらを意識した学びの充実に取り組んでまいります。

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



※自由研究や自主学習を含め、学校・家庭・地域で主体的に課題解決する経験を重ねましょう。

児童の夢と希望をかなえ、未来を切り拓く力を育む方向性を、子どもたち自身、教職員、保護者の皆様、地域・関係者の方々が共有できればとの思いから、文末を「～しましょう」と表現しています。